

連合本部

## 総対話活動を開催



逢見会長代行挨拶



対話活動



小出会長挨拶

連合は、結成30周年に向け、今後のあるべき姿を念頭に置きつつ、構成組織や地方連合会と直接対話を行うことで、ともに運動を進めるための取り組みとして「総対話活動」を進めている。

連合宮城との対話は、6月19日(火)13時30よりハーネル仙台で行われ、連合本部より逢見会長代行をはじめ5名、連合宮城からは四役11名が出席しての対話となった。

小出会長は、「震災から7年が経過した。震災のことを忘れずに取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。今日は、将来的な連合のビジョンを語る場を作っていただき、まさに時機を得たものと思っています。この少子高齢化・人口減少はすでに東北では始まっており深刻となっている。連合のビジョンに期待をしているのは、全国一律の課題ではあるが、とりわけ地方は様子が違うということを理解していただきたい。課題を少しずつ多面的に捉えていただき様々な角度での方針化をお願いしたい」と挨拶した。

対話は、①連合「人口減少・超少子高齢化社会ビジョン」及び「連合ビジョン」について、②連合運動強化特別委員会について、③支え合い・助け合い運動についての3つのテーマについて約2時間行われた。

## 2018連合宮城「男女平等月間の取り組み」

### ① 「宮城労働局への要請行動」を実施

6月5日(火)、宮城労働局会議室において、連合宮城女性委員会は宮城労働局雇用環境・均等室に対し、「雇用における男女平等に関する要請」の提出を行った。

女性委員会から6名、雇用環境・均等室からは室長をはじめ4名が出席し、「ハラスメントのない就業規則の整備に向けた



伊藤副委員長より要請書を手交



意見交換

取り組み推進」など、要請7項目に関する内容や、身近に感じている男女平等の問題点について意見交換を行い、今後の労働行政への取り組みに反映していただくよう要請を行った。

## ② 「女性のための労働相談ホットライン」開設・「街宣行動」の実施

6月15日(金)9時～16日(土)19時まで、連合宮城「女性のための労働相談ホットライン」を開設した。2名の労働相談アドバイザーを中心に、女性委員会役員が二日間にわたり対応。民放2局によるテレビ取材や新聞への労働相談ホットライン実施の掲載もあり、二日間で28件の労働相談が寄せられ、そのうちの10件がハラスメント関係の内容だった。

「労働相談ホットライン」前日の6月14日(木)は、女性委員会・男女平等参画推進委員会・連合宮城仙台地協と連携し、仙台市一番町において街宣行動を実施。今回の集中労働相談に合わせ、女性をはじめ多くの皆さんにPRを行うとともに、連合第4次男女平等参画推進計画や、連合宮城に寄せられている女性からの労働相談問題について、街頭からアピールを行った。



## ③ 男女平等参画推進フォーラムの開催

男女平等参画推進委員会は、6月20日(水)18時より、「男女平等参画推進フォーラム」を40名の参加で開催した。連合第4次男女平等参画推進計画の目標達成が2020年となっていることも踏まえ、男女平等参画推進に向けた取り組みについて、連合本部・井上久美枝総局長より講演をいただいた。

まだまだ縮まらない男女の賃金間格差や雇用形態の問題、育児・家事・介護の問題、そしてセクハラ・パワハラといった仕事におけるハラスメントの実態などが紹介され、なぜ、連合が男女平等参画の取り組みを推進するのか、改めて認識をするフォーラムとなった。

